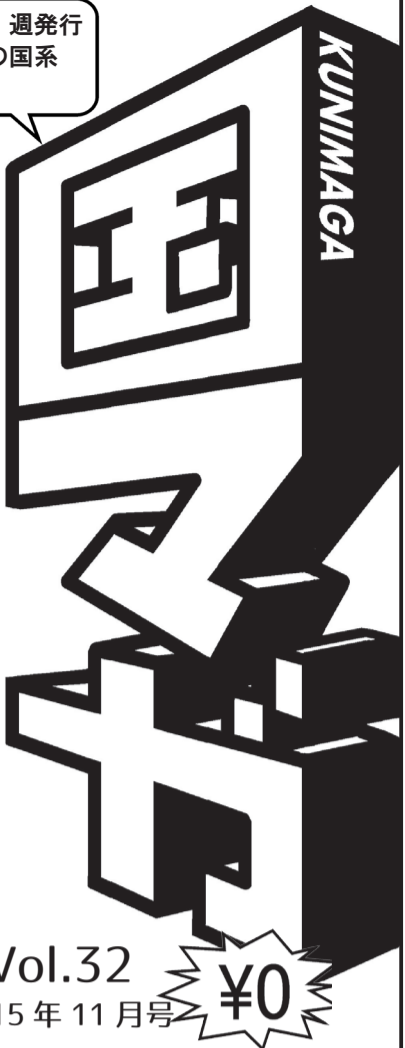


特集「こどもの国ノスタルジー～思い出のあの店～」

毎月第1週発行
こどもの国系
情報誌!



追憶! 今はない店、今もある店。

◆記憶に残るあの店



「あ、あそこのお店なくなっちゃったんだ……」。時代の移り変わりと共に町並みも変わっていきます。遠足のおやつを買ったあの駄菓子屋も、いつも髪を切ってもらったあの床屋も今はありません。しかし、もう閉店だと思っていた店が実は移転していたケースもあります。

◆こどもの国から移転した店々

まずは奈良5丁目にあったラーメン屋「鎌倉家」です。魚介のしっかり効いた鶏ガラ醤油スープは絶品でした。閉店したときは、シヨックでしたが、実は、今でも小田急線町田駅北口から徒歩3分の「ラー麺 鎌倉」として営業しています。あの味がもう一度食べられると知った時は本当に嬉しかった。ラーメン激戦区の町田でも評判のいいお店です。

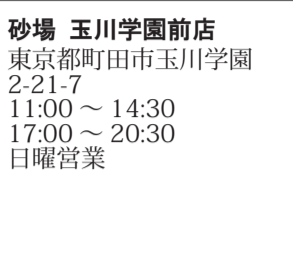
2店目はそば・うどんの「砂場」です。玉川学園前駅北口すぐの場所に奈良北団地近くから移転しました。長年近隣住民に愛されてきたお店なので移転には驚きました。こどもの国近辺ではお酒を飲みながら明け方までダーツやビリヤードができる貴重な遊び場でした。鴨志田出身のTOKIO・長瀬智也も常連だったとか。今は、鶴川駅北口前にあるビルの7階にあります。

◆いつか思い出になる今のために

町や人が歴史を重ねれば思い出のお店も増えていきます。10年後、20年後にする昔話のためにも、この町のお店の思い出をたくさん作っておきましょう。これを機会に、気になつてお店に行ってみるのでもいいかもよ?



ラー麺 鎌倉
東京都町田市森野
1-35-8
11:30～15:00
18:00～22:00
土 11:30～15:00
日祝定休



プリモア
東京都町田市能ヶ谷 1-5-8 鶴川インペリアルビル7F 年中無休
11:00～14:30
17:00～20:30
日曜営業

1989年の大ヒット映画『バック・トゥ・ザ・フューチャー2』の舞台は、2015年10月、つまり先月だった。このことはメディアでもずいぶん採り上げられていた。この話題に関連した記事で面白かったのが、映画の「未来」と現実の「今」とを「答え合わせ」する企画だった。

自動乾燥機能付きジャケットや空飛ぶ車などは実現されていないが、テレビ通信やタブレット端末は見事に実現された。あの頃の「遙か未来」に「今」が来ていることが、なんだか不思議でクラクラする。やっぱり30年間ぐらいになると、風景をガラッと変える力があるのだ。

さて、今回のテーマは「消えた店」だ。

「あの味がどうしても忘れられない!」と、デロリアン(映画に出てくるタイムマシンの名前です)に乗って、もう一度行きたいお店なんかあるだろうか。

ポクポクポク……と、かなり考え込んで、チーンと、「豆腐売りのおじいさんのことを思い出した。そういえば、私がまだ小学生ぐらいのときまで、おじいさんが

「あの味」考 —豆腐とタイムマシン—

バイクのついで奈良北団地まで豆腐を売りに来ていた。今から20年強ぐらい前の話だが、夕方になると「パークプーポ」と気の抜けたラッパが町に鳴り響いていたものだった。これがちょうど食事の準備のころに聞こえると、サッとステンレスのボールがわたされ(若い読者諸君のためにいうが、ここに豆腐を入れるのだ)、よくおつかいを命じられた。おつかいはすべてイヤなものだったが、子ども好きのおじいさんはキャッチボールの相手をしてくれるので、このおつかいは別だった……と、ここまで素敵なノスタルジーに浸って見たが、レディー・ガガと同級生であるわたしのなかに、こんな「昭和っぽい」記憶があることに自分で驚いてしまった。

こういう豆腐売りの風景なんて今じゃ、失われたものになるかもしれない。わたしの記憶でいえば、中学校に上がるころには、「豆腐売りの姿

コラム

引込線 育ち

サリー志村

このおつかいだけは別だった……と、こ

は見なくなっていたように思う(たぶん)。それと同じ頃、この町にもコンビニがぞろぞろと建ちはじめ、扱う商品も豊富になっていった覚えがある。それくらいを境に、われわれの生活スタイルが変わり始めたのだ。

そんなふうになると、もしかして、私が豆腐を買っていたころには、おじいさんは、バイクでの豆腐販売は時代遅れと、すでに変わりゆく時代の流れを感じていたのかもしれない。おじいさんからすると、店を開店させたときからして、ずいぶん「未来」にきてしまった気分だったのかも、と今にして思う。

本題の豆腐のお味の話をする、残念ながらもったく思い出せない。

ま、これは仕方ないことで、子どもが豆腐のあの微妙な味を理解しようなんてムリな話なのだ。

しかし、2015年は鍋料理の季節を迎え、今になって、無償にあのおじいさんの豆腐が食べたくなってくる。デロリアンがあつたらなあ、や、思い出は美しいままの方がいいか。

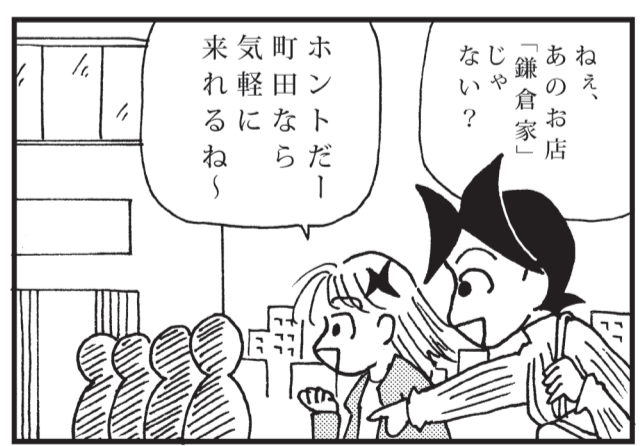
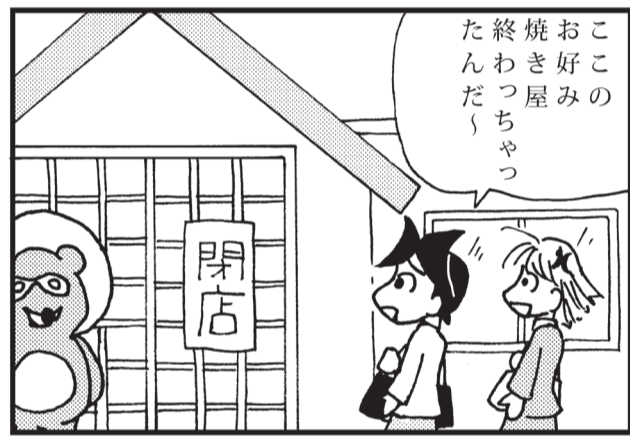
もし、その豆腐が超美味しかったら、やっぱり覚えてはるはずだし。うん、夢のないシメとなってしまった。

論オクニ

べんりなお店

加藤シュンスケ

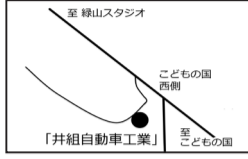
ちかくのお店



井組自動車工業



横浜市青葉区奈良町 1843-80
0120-305-193
<http://www.193motors.com/>



◆車と一緒に思い出も修理
こちらでは、他所の工場やカーディーラーに持ち込んで断られてしまう修理も引き受けます。それが出来る理由は「一流の職人の技術と最新の設備があるからです」と自信の答え。

職人はこの道50年、社長の父であり会長の憲二さんを始め、凄腕のプロフェッショナルが揃い、設備は国内外の高級車に対応したディーラーにもない最新機材を導入しています。最高の設備とそれを使いこなす技術によって、本来はパーツ交換せざるをえないような状態でも、安価に修理が可能なんです。お客さんにとって安くすむのは経済的に嬉しいことですが、それよりも喜ぶべきではないでしょうか。車への愛と誠実さを感じる井組自動車工業のモットーをお聞きしました。「それは町の人たちに『あつてよかった』と言われる会社を目指すことです。これまで数え切れないほどの車を修理してきた井組自動車工業。きつとその数だけ『あつてよかった』とみんなが思っているに違いありません！」

◆社長の素顔
お仕事の話をしている時はキリッとしていた井組社長も、お子さんのことを伺うと表情が緩みます。お休みの日はお子さんたちの習い事の応援や一緒に遊園地に行ったりと優しいお父さんです。そんな井組社長の子供時代の懐かしい場所はというと、「奈良北団地の側にあったショッピングセンターで、よくミニ四駆を買ったりしていましたね」。やはり昔からの車好き！そこは今ではコンビニになつています。変わっていくものがある一方で、一貫してプロの技を提供してきた井組自動車工業。そういう会社を町の誇りと私は思っています。



食卓

短編小説 母の記憶 安原マヒロ

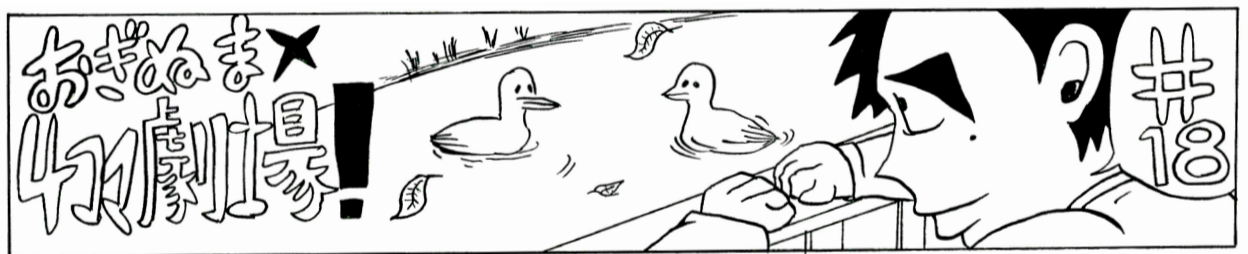
思い出を閉じこめておくものって結構たくさんあって、例えばそれは写真だったりとか、ビデオだったりとか、絵とか文字とかでもいい。そういうものに閉じこめておけば、なんとなくそこに残っている気がして安心する。だけど、そうやって閉じこめるのが難しいのが、たぶん食べものの味なのかなって思う。

二十も後半になってくると、女一人でラーメン屋に入ることもそんなに抵抗がなくなってきた。残業で遅くなったときなんか、ビールまでついたりする。そんな時に「ああ、思い出せないなあ」というのがあつて。もう閉店しちゃうた地元ラーメン屋の味。今思うと、普通の醤油ラーメンだっただけ。縮れた麺も覚えてるし、ぐるぐるのナルトも入ってた。そりゃ、思い出補正なんだろうけど、でも日曜の昼とかに家族で行ったりしたときの一杯は、世界で一番おいしいラーメンに感じた。いかにも職人って感じの鉢巻きをした親父が作っていて、お父さんは大盛りを頼んで、お母さんは担々麺みたいな変わり種を頼んで、弟は嫌いなほうれん草を私のどんぶりにいれたりして。こーう思い出してみると、やっぱりそんな思い出にいい思い出はなかったんだらう。日曜日の、住宅街の片隅で、あのような時間が流れていたことが、おいしさだったんだと思う。あの店はもうないから、あの味に出会うことはもうできない。そして、私はあの味をもう思い出すことができない。

私の誕生日に家族で駅前のお寿司屋さんに行つたことがあつた。私はお寿司が好きだから、いつも誕生日はお寿司に連れて行つてもらうことにした。何を食べようかと、いろいろと考えを巡らせながら、いざテーブルについたとき、私たち家族は、カウンターであるラーメン屋の親父が寿司を食べてることに気がついた。わが家は結構子供でも慎ましく安めのネタとを選んでたけど、ラーメン屋の親父はウニとかトコとかどんどん頼んでいく。そして一番気になったのは、親父の隣に座っていたのが、ラーメン屋のおばさんじゃなくて。若い女の人だったこと。なんだかやけに肩とか頭とかさわり合ったりして。おかげで私の十四歳の誕生日会は開始早々気まずい会になつた。それから、わが家はあのラーメン屋からなんだか足が遠のいた。そして、いつのまにか店はなくなつた。

だから、私はラーメンを食べるたび、あの誕生日のことを思い出す。そして私が、会社に入つてからしばらく、妻子持ちの上司とそういう関係だったことも思い出す。いま、こうして一人でラーメンを食べるようになってみると、もしかしたら私のせいで、かつて私が味わつたような不幸な食事をした家族もいたのかな、なんてぼんやり思つたりする。

今夜の一杯は、さすがメディアによく取り上げられるだけあつて、本当においしいラーメンだった。でもたぶん、これを家で食べたなら全然おいしくないんだと思う。私にも、もう一度あのラーメン屋みたいな食卓が訪れることがあるのだろうか。そうありたいけど、そのためには何か食べきつていないものがあるような気がしてならなかった。



おぎぬまXの劇場!

昔三和の中にマックがあつた。30分後、三和のマグ集合ね? OK!

昔三和の中にマックがあつた。30分後、三和のマグ集合ね? OK!

名物は店の前にある試遊台(ダゲ)でいつも多くのキッズにぎわっていた。

1つは三和の中にある「トップボーイ」000...

駅が少し歩いたところにもう1つのゲーム屋があつた...

SANWA

TOPBOY

あ、コレ! トップボーイになかったぜつた!

あ、コレ欲しいなあ

欲しいソフトにかぎって売り切れ中なこと多し!!

町田いこっ

こどもの国の三和にはマックが2つあつた...

おおそい!!

またああ

あ、コレ! トップボーイになかったぜつた!

あ、コレ欲しいなあ

欲しいソフトにかぎって売り切れ中なこと多し!!

町田いこっ

国マガのアンケート感想! ありがとうございます!

国マガ編集BOOK 『THE こどもの国』 発売決定!

★特集は全国の「こどもの国」を回ってみたレポート関東編!
★おぎぬまXがレポートする関東こどもの国行脚番組DVDが付属!
★2014年4月～15年3月の『国マガ』の漫画、小説、コラムをまとめて掲載!
★こどもの国周辺のお店情報たっぷり!

■こどもの国地区
・コンビニ「スリーエフ・こどもの国駅前店」
・パン「MONT」
・カフェ&ランチ「おぐに」
・歯科「こどもの国歯科」
・そば「なごみ」
・イタリアン&バー「Bacchus」
・コーヒー「GRIVE」
・ケーキ&喫茶「セントボーリア」
・焼肉「炭火焼肉はち」
・カフェ/カレー「なつうめ」
・板金/塗装「井組自動車工業」

■奈良北地区
・ハム/ソーセージ「シャットシンケンかくれ工房」
・本/文具「昭和書房」

・パン「Coonie」
・とんかつ「かつ元」
・接骨院「川本鍼灸接骨院」

■青葉台地区
・パン「COPPET」
・ラーメン「246亭」
・接骨院「あつぷる鍼灸接骨院」
・美容室「カットクラブKOGA」
・BAR「Soul Cocktail's AOBADAI」

■田奈地区
・不動産「太平プラン」
・アートスペース「赤い家」

■町田市
・古着「ULTRABO」

STAFF

加藤 シュンスケ (代表) 会社員 / イラストレーター (@kato_two)
古本屋「MAX」、「へ〜ちゃん」、「道とん掘」等々、こどもの国周辺地域にもたくさんの消えていった店がありますが、記録ではなく記憶に残る名選手は「うどんカフェ」ではないでしょうか?

サリ 志村 (編集長) 編集者 (@shimamuramasari)
この前、通ぶつて古い中華料理屋に入り、七百円の餃子定食を頼んだのですが、会計で二百円多く取られました。途中気付いたのですが、レジのおばちゃんが自信満々で何も言えず。そんな自分にマジで腹が立ちました。

オオキ 長男 (@OhQute)
僕らが小学生の頃の駄菓子屋はガチャボンに、ゲームに、お菓子にと、まるで天国でした。そこに学年も関係なく子供たちが集まって遊びながら社会を学んだ気がします。今の子供たちにそういう場所はあるのかな。

おぎぬまX 元芸人 (@oginuma_x)
時の流れと共にこの街にやって来る店、去る店とたくさんある中、長年堂々と君臨するスーパー三和は「店」というより、もはや「城」だと思いました。難攻不落の城に相応しいよう従業員さんが甲冑を着たらいいのと思いました。マジで!

安原 マヒロ ウェブ編集/ライター (@MahirOrihaM)
実際問題としてこどもの国からお好み焼き「道頓堀」が消えたのは大打撃で、この町できちんと飲むには、もはや大繁盛で入れないこともある「なごみ」一択になってしまいました。求む、普通の居酒屋!

★誌面広告、スタッフへのお仕事の依頼も受付中!

こどもの国系情報誌「国マガ」Vol. 32
発行日 2015年11月5日
編集 安原マヒロ
連絡先 kunimaga920@gmail.com
ホームページにてバックナンバー配信中! → <http://kunimaga.jimdo.com/>

Facebook twitter
Twitter ID @kunimaga920